

令和2年度援護関係予算概算要求の主要事項

	【元年度予算】	【2年度要求】
援護関係予算総額	22,122百万円	→ 22,873百万円
1 援護年金	7,251百万円	→ 6,362百万円
	(受給人員 4,201人 → 3,500人)	
2 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給	537百万円	→ 1,228百万円
	支給事務経費の増（支給対象件数 約85万人）	
3 遺骨収集事業等の推進	2,361百万円	→ 2,969百万円
(1) 硫黄島遺骨収集事業	1,359百万円	→ 1,364百万円
・滑走路地区の面的調査等		
(2) 南方・旧ソ連地域遺骨収集事業	755百万円	→ 1,047百万円
ア 現地調査及び埋葬地調査	326百万円	→ 500百万円
・派遣班数増加に伴う増		
イ 遺骨収集	302百万円	→ 417百万円
・派遣体制の強化に伴う増		
ウ 法人運営経費	127百万円	→ 130百万円
(3) 海外公文書館の資料収集	23百万円	→ 17百万円
(4) 遺骨の鑑定	191百万円	→ 507百万円
ア 鑑定実施体制の充実	183百万円	→ 340百万円
(ア) DNA鑑定に係る体制の充実	148百万円	→ 240百万円
○新 戦没者遺骨専用のDNA鑑定機器の導入		
・DNA鑑定料の引き上げ		
(イ) 形質人類学的鑑定に係る体制の充実	35百万円	→ 99百万円
○新 令和2年度からは、遺骨鑑定人を、遺骨収集に加え現地調査及び埋葬地調査にも派遣		
イ 戦没者遺骨に関する研究の推進	8百万円	→ 168百万円
○新 次世代シーケンサによるSNP分析に係る研究委託		
○新 形質人類学的鑑定に係る研究委託		
・安定同位体比分析に係る研究委託		
(5) 遺骨・遺留品の伝達	33百万円	→ 34百万円

4 戦没者慰霊事業等	586百万円	→	595百万円
(1) 全国戦没者追悼式挙行経費	151百万円	→	162百万円
国費負担参列遺族の増員（各都道府県55名→60名）			
(2) 慰霊巡拝等	435百万円	→	433百万円
ア 慰霊巡拝	100百万円	→	98百万円
イ 政府建立慰霊碑の補修等	54百万円	→	54百万円
ウ 海外・国内民間慰霊碑の管理	22百万円	→	22百万円
(ア) 海外民間建立慰霊碑	10百万円	→	10百万円
(イ) 国内民間建立慰霊碑	12百万円	→	12百万円
エ 慰霊友好親善事業	259百万円	→	259百万円
5 昭和館・しょうけい館事業	664百万円	→	793百万円
(1) 昭和館	480百万円	→	611百万円
ア 昭和館の運営に係る経費	480百万円	→	501百万円
イ (新) 昭和館設備の特別修繕に係る経費	0百万円	→	111百万円
(2) しょうけい館	184百万円	→	181百万円
6 中国残留邦人等の援護等	10,422百万円	→	10,632百万円
(1) 中国残留邦人等に対する支援等	10,251百万円	→	10,456百万円
ア 支援給付の実施等	10,217百万円	→	10,418百万円
イ 中国残留邦人等の介護に係る環境整備	34百万円	→	39百万円
(2) 抑留者関係資料の取得及び特定作業関係	122百万円	→	110百万円
(3) 戦没者等援護関係資料の移管・整備	48百万円	→	65百万円

※ 百万円単位で四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。